



田食 道弘 議員

質問

学校建物への「断熱」推進を

町長

環境の改善など検討したい



国の断熱窓改修事業のチラシ

質問

冬は暖かく夏は涼しく、生活や仕事などを快適に過ごせ、健康、経済、エネルギーなどの損失を抑える、「断熱」が注目されている。

今や、家全体がどこでも国際基準の18度以上に保つことを考える時代だ。自治体独自や国の事業に上乗せする補助制度を設けては。

町長 国の「先進的窓リノベ事業」は、補助率が高いので、住民の皆さんへの周知に努めたい。

町は再生可能エネルギー普及を第一とし、断熱窓については太陽光発電または木質バイオマス熱利用設備の同時設置で補助対象とした事業を設けている。

質問

日本では子どもたちが、毎日過ごす学び舎が耐えきれない暑さや寒さのままだけ放置されてきた。行政が提供すべき最低限度の人権を守っていないことになる。

統合仁多小学校では高断熱の外壁や窓ガラスが採用され、快適な環境となる。統合横田小学校では増改築は行われるが、「断熱」という環境整備は進捗状況の周知チラシには見当たらない。

統合横田小学校、両中学校、全幼稚園でも断熱改修、まず断熱窓への改修を計画すべきだ。

町長 仁多統合小学校の新築校舎は高断熱仕様の建物でソーラー発電も設置する。これに比べると、横田統合小学校校舎は



増改築が進む横田小校舎後側

満足な対応になっていない。全教室と屋内運動場には空調を完備する。どうやって子どもたちの環境を確保するのは大事なので、色々な環境を改善していくかどうか検討したい。

その他の質問

中山間地等直接支払交付金の確保と集落機能強化加算廃止方針の撤回を国に求めることについて。

いつでも、どこでも、誰でも乗れる、フルデマンド交通の導入で交通空白ゼロ実現を。